



平成 30 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 執行役員
氏 名 小島 修一
電 話 03-3264-3148

オウケイウェイブと当社によるシンガポールの医療ベンチャー LIFEX RESEARCH との戦略的提携合意に関するお知らせ

日本初、最大級の Q&A サイト「OKWAVE」(<https://okwave.jp>)を運営する株式会社オウケイウェイブ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:兼元 謙任、以下、オウケイウェイブ)と、当社 株式会社アイロムグループ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森 豊隆、以下、アイロムグループ)は、シンガポールの医療ベンチャー企業 LIFEX RESEARCH PTE. LTD.(本社:シンガポール、代表者:Fujimaru Nichols、以下、LIFEX)との戦略的提携に基本合意しました。

このたびの戦略的提携は、再生医療分野で世界特許を持つアイロムグループと、AI 分野で日米の特許を持ちブロックチェーン技術を用いたサービス開発を推進するオウケイウェイブが、先端医療情報事業を展開する LIFEX(ライフエックス)にそれぞれの技術を提供し、組み合わせることで、再生医療分野等での貢献を目指すものです。

なお、本戦略的提携は、2015 年8月のアイロムグループとオウケイウェイブの業務提携、2017 年 10 月のアイロムグループとオウケイウェイブ子会社の株式会社 OKEIOS(以下、オケイオス)との業務提携に基づき、展開するものとなります。

記

1. 戦略的提携の内容

・オウケイウェイブが日米で特許を持つ AI 技術(※1)と、同社子会社が持つブロックチェーン技術を用いたクラウドサービスを提供。生活者(患者様)の医療・家族・生活・行動・購買情報のデータに加え、研究機関や医療機関のデータをブロックチェーン技術の特長である改竄されにくい安全性(セキュア)を活かして保管するクラウドサービスを提供(※2)。蓄積した生活者のデータや生活者の日常行動から起こりうる健康状態などの医療情報の変化との相関などを AI にて分析し、生活者に必要な医療等を推奨する仕組みを構築します。

・アイロムグループの子会社である株式会社 ID ファーマ(以下、ID ファーマ)が世界特許をもつ iPS 細胞誘導技術(※3)等を用いた再生医療等の情報を提供し、LIFEX の研究を加速。ID ファーマは、安全性と誘導効率に優れた iPS 細胞誘導技術を有し、世界主要地域で特許を取得しています。アイロムグループは同

技術に加えて、疾患遺伝子や遺伝子編集、遺伝子治療の研究データ等を受委託契約に基づき LIFEX に提供し、ブロックチェーンデータベースに保管、分析を行って行きます。

・LIFEX はアイロムグループとオウケイウェイヴが提供する技術等を用いて、遺伝子解析事業を推進します。生体データの解析を通して体細胞を補完する遺伝子を改善するための基幹因子を発見、集約、提供することで人々が健康な生活を送ることができる社会の実現を目指します。

※1 あらゆる Q&A データを「質問」と「回答」に分離し、保存・活用するロジックにて日米で取得した特許技術（特許番号 第 5885689 号）と、オウケイウェイヴ独自開発の AI 「KONAN」を基に、生活者のデータを分析する AI を提供します。

※2 オウケイオスが独自開発したブロックチェーン技術を活用した医療・ヘルスケアデータを一元管理できるプラットフォーム「eios.BC」。患者は「eios.BC」アプリを用いて自身の医療・ヘルスケアデータを一元管理し、任意で医療機関に見せることができます。「eios.BC」はマイクロソフトのクラウドサービス「Microsoft Azure」上にブロックチェーン技術を用いて構築されており、患者側へのインセンティブ付与、改竄や不正アクセスに対する高い堅牢性を特長としています。

※3 再生医療における iPS 細胞の実用化には、iPS 細胞の安定かつ大量供給が不可欠であるとされています。アイロムグループが開発・製造・販売している iPS 細胞誘導キット CytoTune®-iPS は、そのようなニーズに応えることができ、再生医療の発展に貢献することが可能です。

CytoTune®-iPS は、京都大学の山中伸弥教授の iPS 細胞作製技術と、ID ファーマのセンダイウイルスベクター技術を融合させて開発した iPS 細胞誘導キットであり、本キットを用いることにより、一回のベクターの使用で線維芽細胞などの体細胞から iPS 細胞を効率よく誘導することができます。特にヒトに大きな苦痛を与えずに採取できる末梢血・血液細胞からの効率的な誘導が可能であり、他の方法と比べて優れた性能を有しています。さらに本キットを用いて作製された iPS 細胞は、元の細胞の染色体上の遺伝子配列を無傷にそのまま維持しており、また iPS 細胞誘導に用いたベクターが細胞から素早く消失されるよう改良されているため、国内外の研究者から高い評価を受けています。

2. 株式会社オウケイウェイヴおよび LIFEX 社の概要

・株式会社オウケイウェイヴについて <https://www.okwave.co.jp/>

株式会社オウケイウェイヴは 1999 年 7 月設立。「互い助け合いの場の創造を通して、物心両面の幸福を実現し、世界の発展に寄与する」ことを目指し、日本初、最大級の Q&A サイト「OKWAVE」を 2000 年 1 月より運営しています。また、利用者の質問に専門家や企業が回答する「OKWAVE Professional」なども提供しています。法人向けには、「OKWAVE」の運営ノウハウを基に、国内シェア No.1 の FAQ システム「OKBIZ. for FAQ / Helpdesk Support」、顧客参加型サポートコミュニティツール「OKBIZ. for Community Support」、さらには AI エージェントサービス「OKBIZ. AI Knowledge」などを大手企業、自治体など 400 サイト以上に導入しています。2006 年 6 月に株式上場（証券コード：3808）。楽天株式会社、米国マイクロソフトコーポレーションと業務・資本提携を締結しています。今後は 3,600 万件以上の Q&A ビッグデータと、AI、ブロックチェーン、チャットの各技術を組み合わせて、さらに問題解決に寄与するサービスを提供していきます。

・LIFEX について <http://lifex.bio>

LIFEX は遺伝子研究データを中心とした、ブロックチェーン技術を用い医療情報を安全かつ可用性を持った形で保管する技術“LIFEX BC Network”を開発する医療情報ベンチャー企業です。研究機関ばかりでなく、医療機関、患者様、一般ユーザーまでをこのブロックチェーンネットワークに繋げ、蓄積した情報を様々な組織が解析できるようにすることで、医療の発展に利用できるようにしていきたいと考えています。

※記載された商品名、製品名は各社の登録商標または商標です。

3. 業績に与える影響

本合意による当期の業績に与える影響は軽微と見込んでおります。また、来期以降の業績への影響は、現在精査中です。今後、詳細が判明しましたら改めてお知らせいたします。

以上